

NciI

I. 認識配列

5'.....CC▼ [C/G] GG.....3'
 3'.....GG [G/C]▲ CC.....5'

II. 保存

-20°C

III. 活性定義

1 unitは、反応混合液 50 µl中、1 µgのλDNAを37°C、60分間で完全に分解する酵素活性とする。

IV. 起源

Neisseria cinerea (NRCC 31006)

V. 形状

50 mM Tris-HCl (pH 7.2)
 0.1 mM EDTA
 1 mM DTT
 0.5 mg/ml BSA
 50% Glycerol

VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 37°C
 ・バッファー : L

10 mM	Tris-HCl (pH 7.9)
10 mM	MgCl ₂
1 mM	DTT

VII. 添付品

・10 x L Buffer (黄色ラベル)
 添付反応バッファーは、酵素反応条件の10倍濃度です。
 制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	100	50	<5	100	<5

IX. 純度

本酵素 20 units と 1 µg の λDNA を 37°C で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

X. 備考

- ・本酵素切断フラグメントは、T4 DNA リガーゼでほとんど結合しない。
- ・制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
 医薬品の用途には使用しないでください。